令和７年度　授業計画

ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	芸　術	科　目　名	書道Ⅰ（２単位）	選択相手科目	音楽Ⅰ・美術Ⅰ
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）		副教材等	くらしのペン習字(教育図書株式会社)	

１　科目のねらい（目標）

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

２　科目・授業の内容と進め方

・「書写」と「書道」との関連及び、違いについて理解します。
・用具や用材によって幅広い表現方法があることを理解します。
・漢字、仮名、篆刻、創作作品等を臨書及び制作していきます。

３　学習の方法

・古典作品の鑑賞から、その作品の歴史的背景や筆者の心情について理解します。
・各古典の線質の違いを理解し、臨書します。
・いろいろな書風に触れ、表現技術を高め、創作に生かします。

４　課題・補習について

・各時間、作品を提出します。
・創作等は、半紙以外の用材に書いたりもします。
・ペーパーテスト（後期）があります。

５　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統や文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ（２単位）	選択相手科目	音楽Ⅰ・美術Ⅰ

６　年間の学習計画

月	単元名	学習する内容	評価方法（課題等）
4	書写から書道へ 書道で学習すること ①漢字の書 文字の造形を学ぶ＜楷書＞ 「孔子廟堂碑」	・書写と書道の違い ・書道の三分野 ・臨書 ・用具、用材の知識 ・姿勢や執筆法の基本	・行動観察(主体的) ・作品提出 (知・技、思・判・表)
5	「九成官醴泉銘」 「雁塔聖教序」	・漢字の変遷とさまざまな書体 ・唐の四大家の古典の鑑賞と臨書	
6	「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」	・唐の四大家とは全く違う特徴の古典臨書	
7 8	創作 くらしの中の書 ペン字	・各自工夫を凝らして団扇に文字を書き入れる ・ペン字の基本と実用的な書き方	・行動観察(主体的) ・作品チェック (知・技、思・判・表) ・ノート提出 (知・技、思・判・表、主体的)
9	文字の造形を学ぶ＜行書＞ 「蘭亭序」 「風信帖」	・行書古典の鑑賞と臨書	・行動観察(主体的) ・作品チェック (知・技、思・判・表)
10	篆刻 文字の造形を学ぶ〈草書・隷書・篆書〉 「真草千字文」	・名前印の作成 ・草書古典の鑑賞と臨書	・行動観察(主体的) ・作品チェック (知・技、思・判・表)
11	「曹全碑」 「泰山刻石」	・隷書古典の鑑賞と臨書 ・篆書古典の鑑賞と臨書	
12	②仮名の書 文字の造形を学ぶ 「平仮名」 「蓬莱切」	・仮名の成立と種類 ・仮名の筆使い ・平仮名をリズムよく書く ・仮名古典の臨書 ・各自工夫してカレンダーに言葉を書く	
1 2	書き初め ③漢字仮名交じりの書	・軸に得意な書体で書く ・漢字仮名交じりの書とは ・好きな言葉を様々な形で表現する	・行動観察(主体的) ・作品チェック (知・技、思・判・表) 学年末考査 ・考査により評価 (知・技、思・判・表)